

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第4回）

タイムライン策定に向けて「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第4回）」を開催しました。検討会では、参加機関によるワークショップを実施し、これまでに検討した到達目標にむけての行動項目・細目の所要時間や行動開始時期、それぞれの担当機関の役割設定や他機関との連携について検討しました。

- 開催日時 平成28年4月27日（水） 13:30 ~ 17:00
- 実施場所 たきかわ文化センター（滝川市）
- 参加機関 滝川市等36機関

開会の様子

検討会には各関係機関の防災担当者に加えて、アドバイザー、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約110名が参加しました。札幌管区気象台の西潟 業務課長より開会の挨拶があり、検討会がスタートしました。



開会の挨拶
札幌管区気象台 西潟 業務課長

参加機関によるワークショップ

4月の人事異動等で新たな参加者が多かったことから、札幌開発建設部 秋山河川管理課長より、「これまでの取り組みについて」説明がありました。続いて布川進行役より意思決定グループのワーキング結果報告と、ワークショップの進め方について説明がありました。



これまでの取り組みの説明
秋山 河川管理課長



布川進行役による説明

参加機関・オブザーバーの役割に基づき「市民安全行動」、「市民安全支援」、

「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分かれ、ワークショップを行いました。

各グループでは、第3回検討会までに設定した行動項目・細目の所要時間や行動開始時期の確認に加え、各行動項目・細目の担当機関の役割設定や他機関との連携について議論を行いました。最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表し、情報の共有を図りました。



各ワークショップの様子



グループリーダーによる成果発表

アドバイザーによる講評

検討会のアドバイザーであるNPO法人 環境防災研究機構 北海道 黒木専務理事と、元旭川地方気象台長の志田気象予報士による講評では、災害発生後の対応や災害弱者に対する情報提供、避難誘導について更に検討が必要との助言がありました。最後に札幌開発建設部 宮藤次長の挨拶で閉会となりました。



黒木 専務理事
による講評



志田 気象予報士
による講評



宮藤 次長
による挨拶